兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2025 12

2025年度兵庫県生協大会では12のブースが出展され、商品や取り組みの紹介、体験コーナーなどが設けられ、多くの参加者で賑わいました

大学生協による合同ブースでは、各大学のオリジナルグッズを紹介。かわいいキャラクター達も多数参加しました

ひょうごまるごと健康チャレンジ
医療生協による血圧・骨密度などの健康チェックを受けて、最後に「健チャレ宣言！」

購買生協の3つのブースでは、試食・サンプルの配布が行われました

2025

©UN

国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

―― 協同が息づく兵庫のまちづくり ――

ひまわり医療生活協同組合
専務理事
山本 洋司
（やまもと・ようじ）

小さなことからコツコツと

今年の6月に開かれた総代会を機に専務理事に就任しました。それまで7年ほど理事を務めていましたが、会社勤めの仕事が忙しくて月に1回程度、理事会に顔を出すだけの名ばかり理事でした。それがある日突然、専務理事ということになり、落ち着くことのない日々を送っています。

尼崎市には尼崎医療生協と阪神医療生協という歴史ある医療生協がふたつあり、さらに北には宝塚医療生協、そして西にはろっこう医療生協と規模の大きい医療生協が連なる中で、診療所と訪問介護ステーションがひとつずつあるだけの小さな組織で、名前はひまわりだけど、たんぽぽのような小さな医療生協です。

今年はひまわり医療生協の母体である田島診療所が設立されて30年、医療生協としてスタートして25年という節目となる年です。記念すべき何らかの行事をと思うのですが、現在のところ協議・思案中というところです。

私が勤務する医療生協本部の事務所は、訪問介護事業所と同居しており、日ごろから常勤の訪問ヘルパーとは顔を合わせる機会が多く、登録ヘルパーとはなかなか会えません。私は以前、介護施設で事務をしていた経験があり、介護業務の内容はある程度理解していたつもりですが、一人のヘルパーの「利用者さんに対して、できるだけ希望に添えるようにサービスに徹しているけど、正直言って時々気持ちが折れそうになることがあるんです」という言葉が胸に刺さりました。施設とは違って、ヘルパーが一人で利用者と対応する訪問介護という業務形態のむずかしさを改めて考えさせられました。常勤と登録という独自の働き方も管理する側の立場としてはややこしいものを感じます。

介護に携わるスタッフは定期的な研修が義務付けられていますが、以前からひまわり訪問介護の事業所にとっても大きな課題になっています。とりわけ登録ヘルパーへの対処がスムーズに進まない現状があります。少しはかじったことのある介護について復習し、研修の講師を務めることを当面の私の仕事の一つに加えようと思っています。

CONTENTS

2．想点
3．2025年度 兵庫県生協大会 開催
4．ピースアクション／共済生協部会学習会
5．国際協同組合年　記念講演会／
兵庫県・兵庫県生協連共催 監事研修会
6．協同組合のかけ橋
7．兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8．新春トップセミナー・賀詞交換会のご案内／
税務・経理講習会のご案内／県連行事予定／編集後記

2025年度 兵庫県生協大会　開催

テーマ

つながる力で未来を拓（ひら）く
～平和で持続可能な社会の実現～

10月23日、神戸サンボーホールにおいて、2025年度兵庫県生協大会を開催し、会員生協の組合員や役員、職員など313人が集いました。

兵庫県県民生活部長
田中序生 様

神戸市地域協働局副局長
服部星次 様

兵庫県議会副議長
大豊康臣様

「生協功労者表彰」受賞者

第１部記念式典は、生活クラブ生活協同組合都市生活 藤原あゆみさんの司会で始まり、主催者を代表して兵庫県生協連 岩山利久会長理事が挨拶。ご来賓からは、兵庫県県民生活部長 田中序生様、神戸市地域協働局副局長 服部星次様より表彰者と生協への期待がこめられた祝辞をいただき、兵庫県議会副議長 大豊康臣様からもお祝いのメッセージを頂戴しました。

続いて行われた表彰式では、長年にわたり生協の発展に寄与された会員生協役員１人に生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」が贈られました。また、生協業務に精励した27人に「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られ、会場から大きな拍手がおくられました。

第２部では、阪神医療生活協同組合阪神漢方クリニック 薬剤師の福田裕子氏の講演「季節の食養生～夏の疲れを整える　秋と冬に備えて～」、落語家・天台宗道心寺住職露の団姫氏による落語と講演「一隅を照らす～自分らしく輝く秘訣～」のステージの催しが行われました。

また、国際協同組合年を記念し開催規模を拡大、会場内には兵庫県生協連の会員生協や、兵庫JCCなど協同組合関連組織など、12のブースが出展されました。試食、防災やくらしの安心のための体験、健康チェックなどを通して、各団体の取り組みを紹介しました。

参加者からは「各ブースをまわり、いろいろな生協の取り組みを知ることができた」「健康チェックや講演で自分の体のことを考えるキッカケになった」「たのしく学ぶことができた」などの感想がありました。

福田裕子氏

露の団姫氏

共栄火災海上保険

こくみん共済coop

JAグループ兵庫

JF兵庫県漁連

ひょうご森連

2025年度　兵庫県知事感謝・兵庫県生活協同組合連合会会長表彰　（順不同、敬称略）

兵庫県知事感謝

岩山　利久	生活協同組合コープこうべ

兵庫県生活協同組合連合会会長表彰

岩成　　潤	生活協同組合コープこうべ
松下　弘樹	生活協同組合コープこうべ
大和田一典	生活協同組合コープこうべ
片岡　祐一	生活協同組合コープこうべ
小湟　義久	生活協同組合コープこうべ
大橋　恭子	生活協同組合コープこうべ
河野　　剛	生活協同組合コープこうべ
足立　政司	生活協同組合コープこうべ
弥三川典子	生活協同組合コープこうべ
河端　啓子	生活協同組合コープこうべ
佐伯　康裕	生活クラブ生活協同組合都市生活
天羽　恵美	神戸医療生活協同組合
福島　真美	神戸医療生活協同組合
圓尾　育世	神戸医療生活協同組合
東　　一	尼崎医療生活協同組合
樋口かおり	尼崎医療生活協同組合
竹内　規雄	尼崎医療生活協同組合
薮内　　崇	尼崎医療生活協同組合
堀江　敬子	宝塚医療生活協同組合
杉下　健二	宝塚医療生活協同組合
萱島　利美	姫路医療生活協同組合
安蒜　明子	姫路医療生活協同組合
戸田　邦美	ろっこう医療生活協同組合
浅田　　淳	ろっこう医療生活協同組合
秋山　和子	ろっこう医療生活協同組合
射場初百合	ろっこう医療生活協同組合
山本　悠人	姫路市民共済生活協同組合

ピースアクション2025　広島訪問

戦後・被爆80年の年に、「平和について考え、自分たちができることを考える」ことを目的にピースアクション委員会で被爆地訪問を企画し、会員生協の役職員・組合員23人が11月４日に広島を訪問しました。

新神戸駅に集合後、新幹線・バスでホロコースト記念館（広島県福山市）を訪問。記念館を開設した大塚氏と館長の吉田氏から講演と館内の解説をいただきました。午後からは、原爆ドーム、原爆の子の像などの碑めぐりガイドをしていただきながら平和記念公園を巡り、最後に平和記念資料館を見学しました。

参加者の意見・感想

- 「なぜ人間はお互い仲良く平和に暮らせないのだろう」というアンネの問いにみんなで考えたいと思います。
- 戦争は人が起こすこと、止めるためにできることはある。あきらめてはだめだと伝えます。
- 多くの命が奪われたこと、そしてその悲しみが、願いが、平和への強い思いとなっていると感じました。
- 平和記念公園には海外の方、修学旅行の高校生がたくさん来ていて、皆さんが平和について少しでも感じてくれれば、良いなと思いました。

ホロコースト記念館　大塚氏

広島平和記念公園　碑めぐり

参加した皆様

共済生協部会学習会

11月６日共済生協部会の拡大版として、コープ共済連教育学習活動部教育研修グループ　岩本和也氏を講師に招き学習会を実施し、９人が参加しました。

岩本氏から「少子高齢化に伴う社会保障の変化と医療現場について」と題し、社会情勢と社会保障制度の今と未来や医療現場についての講義をいただき、「人生100年時代における保障」について考える機会となりました。また参加者同士で質疑応答や、上期の振り返りなどの意見交換をしました。

国際協同組合年　記念講演会

11月12日に国際協同組合年記念講演会として、日本協同組合連携機構（JCA）の比嘉政浩専務理事に、「協同組合だからできること～協同の価値を私たちの言葉で～」をテーマにご講演いただきました。

2025年が二度目の国際協同組合年になった背景にある協同組合への期待と評価についてや、協同組合のアイデンティティに関するICA声明についてご説明いただき、協同組合が抱える「目的（使命）と収支の両立のために」についてお話をいただきました。参加者にとって協同組合の事業活動を考える大きなきっかけになりました。

参加者の感想

- 改めて生協の起源、役割を想起しました。特に印象に残ったのは国連が協同組合に期待している。その理由が、「地域の要求を自ら資金をつくり、その資金を事業で生み出している。利益追求だけを目的にしている株式会社では不可能な事を実現しているから」との説明は大変納得しました。
- 「事業を通じて組合員のニーズと願いを実現し、その延長で社会や地域の課題解決に貢献」、改めて今後の事業活動の総括、方針に活かしていきたいと思いました。
- 貴重なお話を聞けて良かったです。今後も協同組合の職員として「志」を持って仕事をしていきたいと思います。

つづけて、第２回医療生協部会と第２回保健・医療・福祉研究会を開催し、各生協の上期の振り返りと下期の取り組み計画について意見交換をしました。

講師　比嘉専務理事

生協の役職員・組合員41人の参加がありました

第28回 兵庫県・兵庫県生協連共催 監事研修会

11月14日、オンラインで兵庫県・兵庫県生協連共催による「第28回監事研修会」を開催しました。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割や監査実務の確認と、健全な生協運営を実施するために行っているもので、当日は、８会員生協から16人が参加しました。 はじめに、日本生協連渉外広報本部法務部の井藤康治氏から「監事監査の基本と監事監査規則」、次いで兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班主事 松本侑也氏から「生協の指導検査を実施して」と題して、それぞれ講義をいただきました。

協同組合のかけ橋

JF 兵庫漁連

漁港・漁村の魅力を活かした新たなイベントが開催される

～丸山漁港、明石新浜で多様な団体と連携して実施～

9月27日（土）、28日（日）に海業推進地区に指定された丸山漁港で、まるやまFESTIVAL 2025実行委員会主催の「淡路島まるやまFESTIVAL 2025」が初開催。共催団体に丸山地域づくり協議会・南あわじ漁業協同組合・株式会社まるやまと、後援に南あわじ市・南あわじ市教育委員会が名を連ねる地域挙げてのイベント。漁船クルーズ、釣り・魚調理体験、タッチプール、カンファレンス等の水産関係イベントのほか、音楽ライブ、野外シネマ、花火等、浜焼きBBQなど盛りだくさんの催し物が行われ、多くの家族連れや若者が自然・食・体験を楽しみました。

また、9月28日（日）に明石浦漁業協同組合とその周辺地域で、一般社団法人すまい研主催の「明石新浜軒先マルシェ」が初開催。共催団体にまちづくり大観地区協議会、明石浦漁業協同組合、後援団体に明石市、協力団体に一般社団法人neo-waveが名を連ねる地域ぐるみのイベント。まち全体を商店街に見立て、地域を散策しながら買い物を楽しむ企画で、ゴールの明石浦漁協ではエビ釣りや魚拓つくりなどの体験、鮮魚やハンドメイド小物などの買物、地魚を使った丼等の飲食を楽しむ人達で賑わいました。

ともに爽やかな潮風に吹かれながら、ゲスト・ホスト双方が笑顔溢れるイベントでした。

丸山漁港（カンファレンス）の様子

JF明石浦の様子

JA たじま 農事組合法人 河谷（こうだに）営農組合

環境への負荷を軽減した農法で、安全なお米と多様な生き物を育む

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1. 河谷営農組合の成り立ちについて教えてください

河谷地区は、離農者と耕作放棄地の増加が課題となっていたことから、平成13年に、農地を持続的に耕作することを目的として、地域の少数の農家が結集し、集落営農を開始しました。

この取組みが普及し、農地の集約化が進展したことから、平成19年に農地の効率的な管理を目的として、地域の全員が参加する「農事組合法人 河谷営農組合」を設立しました。

現在は、水稲・小麦・大豆・小豆の4品目を部会員37名で生産しています。

Q2. 河谷営農組合の取組みについて教えてください

本組合は、化学肥料や農薬の使用をなるべく抑えた減農薬栽培や無農薬による栽培に取り組んでいます。

中でも水稲と大豆は、環境や生物多様性に配慮したコウノトリ育む農法を用いて栽培しており、海外への販路拡大や関連 商品の販売等、地域のブランドとして注目が集まっています。

Q3. コウノトリ育む農法について詳しく教えてください

コウノトリ育む農法は、安全なお米と生きものを同時に育む農法です。

冬には微小生物を増やすために田んぼに水を張る「冬みず田んぼ」等を実施し、生物が生息しやすい環境作りに取り組み、田んぼの生態系に配慮しながら丁寧に管理しています。

Q4. 現在、力を入れている取組みについて教えてください

豊岡市では学校給食で提供するお米をコウノトリ育む農法で栽培された有機栽培米への全量転換をすすめており、本組合でも、今年度より学校給食用の有機栽培米の作付けに取り組んでいます。学校給食を通じて、子どもたちの食への意識を高めるとともに、地域で取り組むコウノトリ育む農法に興味を持つきっかけになって欲しいと考えています。

Q5. 今後の目標について教えてください

今後も、有機農法や無農薬による栽培や生物多様性に配慮した農法を継続し、地域の農地と生物が生息しやすい環境を守っていきたいと考えています。

また、スマート農機の導入等の新たな施策にも積極的に挑戦し、管内の農地と農法を次世代へと継承していく持続可能な生産体制の構築を目指していきます。

公開中

落語仕立ての動画で学ぶ “消費者トラブル劇場”

高齢者の消費者トラブルが後を絶ちません。兵庫県では、高齢者が消費者トラブルに巻き込まれないよう、気をつけるポイントを落語仕立ての動画で楽しく学べる「消費者トラブル劇場」を公開しています。

県内の消費生活相談窓口に寄せられた令和６年度の相談における契約当事者の年代は、60歳以上が45.５％、70歳以上は29.６％に及び、相談に占める高齢者の割合は、年々、高くなっています。

〈動画を見てトラブル回避を！〉

「消費者トラブル劇場」は、近年相次いでいる「水回りの修理トラブル」や「屋根工事の点検商法のトラブル」など、高齢者が特に巻き込まれやすい消費者トラブルを中心に、代表的な事例と気をつけるポイントを動画にまとめています（全５編・各編30秒）。また、親族や周りの方々が高齢者を見守る際に気をつけるポイントを学べる「見守り編」もありますので、是非ご覧ください。

〈動画はこちらから〉

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk12/shohiseikatsu/188rakugo.html

消費者トラブル劇場啓発動画

気になるとき、困ったときは 迷わず電話を！ 消費者ホットライン 局番なし 188 いやや

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

さて、本日はみなさまにご報告したいことがあります。ひょうご消費者ネットが、令和７年度兵庫県社会賞を社会福祉の分野で受賞しました。この賞は、兵庫県が県民文化の高揚、科学技術の向上、スポーツの発展及び明るい地域社会づくりに顕著な貢献をされた個人又は団体に、文化賞、科学賞、スポーツ賞及び社会賞を贈っているもののようです。なので、ひょうご消費者ネットが受賞した社会賞のほかにも、文化賞、科学賞、スポーツ賞があります。ちょうど、ひょうご消費者ネットが来年、法人設立から20年を迎えるということもあり、ひとつの節目になった気がします。私がひょうご消費者ネットに関わりを持たせてもらってからもずいぶんと時間が経ちましたが、今も、相談や被害が無くなることはありません。昨日も、個人の業務で、訪問買取に遭ってしまい、大切な物まで持って行かれてしまったという相談を聞きました。相談先や対処の方法などが知られてほしいなと思うこともまだまだ多いです。少しでも、消費者被害に遭う人が少なるなる社会になればと、またかんばっていこうと思います。2025年もお世話になり、ありがとうございました。

ひょうご消費者ネット 連絡先
〒650-0011　神戸市中央区下山手通五丁目７番11号兵庫県母子会館２階Ｃ
TEL：078-361-7201　E-mail：office@hyogo-c-net.com

第653号 兵協連だより 2025年12月1日発行
編集発行 兵庫県生活協同組合連合会
〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 神戸商工貿易センタービル13階
TEL(078)894-3207 FAX(078)894-3208

2026年　兵庫県生協連

第21回 新春トップセミナー・賀詞交換会のご案内

◆ 開催日時：**2026年1月10日（土）** 14：00～17：00
14：00～15：45　トップセミナー（講演会）
16：00～17：00　賀詞交換会

◆ 会　　場：湊川神社　楠公会館　神戸市中央区多聞通3丁目1－1

◆ 講　　演：**「協同組合のくらしや地域社会に対する役割**
～これからの協同組合に期待すること～」
関西大学商学部商学科流通専修 教授　杉本（すぎもと）　貴志（たかし）氏

◆ 申込締切：12月22日（月）

参加申込・お問い合わせ　兵庫県生活協同組合連合会　TEL 078-894-3207　Email hyogo@kobe.coop.or.jp

2025年度 税務・経理講習会のご案内

開催日時：2026年1月23日（金）　10：30～16：00
会　　場：神戸商工貿易センタービル　26階　第8会議室
内　　容：① 2025年度税制改正
② 経理処理で注意すべき税務上の取扱い事例
③ その他（質疑応答含む）
講　　師：税理士　江藤 俊哉 氏
受 講 料：無料
申込締切：12月19日（金）

参加申込・お問い合わせ
兵庫県生活協同組合連合会
TEL　078-894-3207
Email　hyogo@kobe.coop.or.jp

県連行事予定

12月1日　第4回理事会
12月11日　兵庫JCC幹事会

休業のお知らせ

2025年12月27日～2026年1月4日まで兵庫県生協連は休業いたします。
皆様にはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

編集後記

国際協同組合年であった2025年が間もなく終わろうとしています。振り返ってみるととてもあっという間だったように思います。震災30年や戦後80年ということも相まって、兵庫県生協連の行事も、ちょっとだけチャレンジングなことにも取り組みました。「助け合い」という言葉の下、たくさんの方にご協力・ご尽力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。
「2025年の国際協同組合年はどんな年だったか」を、自信をもって振り返れるように、あと1カ月を過ごしたいと思います。〈権藤〉